

【会員だより】

田中幹生

会員の皆さん。山口市の「山口芸術情報センター(YCAM)」御存じですか。

山口市が運営する前衛的な劇やパフォーマンス、音楽や爆音映画、バイオテクノロジーを使ったアート作品など全国でも数箇所しかない新しい現代アートの発信基地です。



私は3年ぐらい前からサポートスタッフとしてボランティアガイドをやっています。男女の大学生から70代(私が最高齢)までの主婦や退職者と一緒に新しい鑑賞法「対話型鑑賞」についての研修を受けながら、お客様への接客、案内をしています。

対話型鑑賞は現在小中学校で美術授業等にも取り入れられています。

従来、美術館や博物館・イベントホールなどで展示される作品のガイドによる説明は作品の内容や特徴、アーティストの制作理念や来歴、他の代表作等の説明が主だったのですが、「対話型鑑賞」とはアートをお客様と一緒に鑑賞しながらお客様の感じたことを対話によって聞き出し討議したりする鑑賞法で、答えは無く自由に楽しんでいただきながらアートの再発見をするのです。

現在、開催している作品は、坂本龍一と高谷史郎、YCAMのコラボ企画による「ART-ENVIRONMENT-LIFE2021」10月8日～2022年1月30日(休館日火曜、12/29～1/3)で入場料は無料。雪舟庭入場料が必用。

会場は山口市内3か所(YCAMスタジオA、雪舟庭、山口駅近くサテライトA)で内容は坂本龍一の新しいサウンド(雨や霧、波紋や樹木に流れる微弱な電流と言った自然現象取り



入れた)と高谷史郎の空間を演出するインスタレーションアートとYCAMのコンピュータ技術を使った演出の作品です。例えば雪舟庭を鑑賞しながらどこからともなく流れてくるサウンドを聞いたり、真っ暗闇の部屋で天井から吊り下げられた水槽に映像を映し出し龍一のオペラ曲「ライフ」を寝転んで観賞したり、水が張られた水槽に天井から落ちる水滴で起る波紋を眺めたり等……

最近はコロナが少し落ち着いてきたからか、関東地区や中京地区、関西地区、広島・福岡からの来場者が目立ち始めました。又、山口市在住のお客様で作品を気に入り十数回来場された方もいます。

私も、この年になってガイドが出来るかな?思っていたのですが、若者や同年の仲間、お客様と対話を重ねる事でまだまだ自分の知らなかった世界、若い人たちの考え方、芸術への再発見、体験等毎日ナビゲイターをする為の引き出しづくりの勉強をしながらガイドを楽しんでいます。

コロナが落ち着いたら是非お越し下さい……面白い体験ができますよ!

